

(様式1)

太田小磯デイサービスセンター運営推進会議報告書

開催日時	令和 6年 3月 7日 (木)	14 時00分~14 時55分
場 所	会議室	
参加者	議 題	
利用者 1名	1. 報 告	
利用者の家族 1名	(1)施設の現況について	
地域住民の代表者 1名	2. 意見交換	
湖南地域包括支援センター職員 1名		
当センター職員 2名		
会 議 録		
1 報 告		
(1) 施設の現況について		
・利用状況 別紙のとおり		
2 意見交換		
(生活相談員) デイサービスを利用してみてどうですか。		
(家族) 正直、私も妻も高齢となり、老々介護の状況です。そのような中で母の介護をするのは大変です。母は認知症もあり、話がつながらない時もあり、ストレスが溜まることもあります。私が若いころはこのようなサービスはありませんでした。母も大変な思いをしてきたとは思いますが、高齢となった今、介護をするのは本当に大変です。数日、利用してくれただけでも助かっています。		
(地域代表) 確かに私たちが若いころはデイサービスのような資源はありませんでした。私も義母の介護をしていましたが、外に出てしまうこともあったので、一緒に寝ていました。仕事もしていたので本当に大変でした。今はデイサービスがあります。家族に代わり介護を担ってくれています。本当にありがたいと感謝しています。現在は、新型コロナも流行しており、私も感染しないように注意をしておりますが、こんな中でもデイの職員さんも感染予防を徹底しながらの仕事は大変だと思います。今後よろしくお願ひいたします。		
(生活相談員) 湖南町の高齢化の状況はどのようになっていますか。		
(地域包括支援センターの職員) 湖南町の高齢化率は50%を超えています。しかも、一人暮らしの高齢者が増えています。介護をしたくてもできない状況というのが湖南町の現状です。また、サービスを提供する資源が少ないのも現状です。デイサービスも2カ所しかありません。そのいずれも定員満員の状況です。資源には限りがあります。これからも頑張って支援していただきたいと		

思います。

(所長) 現在、湖南町の人口はどのくらいですか。

(地域包括支援センターの職員) 以前は、2800人程度だったかと思います。

(家族) 今は、2300人くらいのはずです。昔は、12000人を超えていました。各学校もたくさんあり賑わっていました。今は子供も少なく、高齢者ばかりの町となりました。

(地域代表) 先ほど、湖南町にデイサービスは2カ所あるということでしたが、両方利用している方はありますか。

(生活相談員) 1名いらっしゃいます。

(地域代表) どちらが利用して楽しいとか言うことは聞かれていますか。

(生活相談員) それについては詳しく聞いていないため何とも言えませんが、小磯デイサービスとしては特色のあるデイサービスの利用ということで、湖南町独自の文化の一つである「民話語り」について現在力を入れております。先日は職員が全文を読み上げ、利用者の皆さんに聞いていただきました。

(地域代表) 過去に私も民話の普及活動をしていて、様々な所へ行き民話の良さを指導して参りました。民話を聞かせていて、途中から眠ってしまう利用者の方はいませんでしたか。

(生活相談員) 何名かおられました。

(地域代表) 私も活動を通じて同じような思いをしてきました。どうしたら聞いてもらえるかを考えながら活動していました。小磯デイを利用される方々の多くは高齢の方だと思います。ならば、湖南の方言を使いながら耳馴染みする効果を使ってみてはどうでしょうか。高齢による難聴の方が多いと思います。何を言っているのかわからないまましていると眠気がくるのではないかと思います。それならば、大きなスクリーンを利用し民話に関する絵や映像を演出してみてもどうですか。民話を視覚を使って訴える新しいレクリエーション活動になるのではないのでしょうか。頑張ってみてください。

(生活相談員) ありがとうございます。目で訴える新しいレクリエーション活動だと思います。小磯デイ独自の特色のあるデイサービスとして、利用者の皆さんのために職員全員で取り組んでいきたいと思います。

(所長) 本日は、貴重なご意見をありがとうございました。